

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

京都市

（地域における現状・課題）

少子化により、単独ではチームを組めず、実践的な練習ができない部活動が増加しており、また、競技の専門的な指導ができる教員がいない部活動のある学校や、顧問になることを望まない教員に顧問を依頼せざるを得ない学校が増加している一方、部活動指導に携わり続けたいと望む教員も一定数いる。これらの現状・課題を踏まえ、本実践研究を通じて今後の部活動の在り方を検証した。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：民間事業者（リーフラス株式会社）

活動場所：活動する中学校で活動

指導者：民間事業者の指導者（大学生、社会人など）

移動手段：徒歩、公共交通機関

責任主体：民間事業者

活動種目：バスケットボール、ソフトテニス、卓球

会費等：なし

保険：246,530円（損害保険、賠償責任保険）

（実践研究の成果）

この間取り組んできた実践研究における休日の外部指導者による指導に対しては、技能の上達を実感する生徒も多く、教員とは違った視点での指導法や専門性などに、生徒・保護者をはじめ学校からも一定の評価が得られた。また、保護者から「外部指導者に安心して任せることができた」との回答が97%であり、指導者と保護者の信頼関係が構築できた結果である。

引き続き保護者や関係者等へ丁寧な説明を心掛け、理解の醸成に努めることで、円滑な地域移行を推進する。

（運営体制図）

